

秋季リーグ戦開催にあたって

関東学生卓球連盟会長 甘 竹 秀 雄



秋季リーグ戦を迎えるにあたり、春以降全日本大学対抗を経て、各校がどのように成長したのか大変楽しみです。

春季リーグ戦では初の1部男女8校制を実施し、男女とも早稲田大学が優勝を果たしました。各校とも新人の活気溢れるプレイを観させていただき、内容の濃い試合が数多く、今後の成長が大いに期待できると実感しました。また、入替戦が行われ、男子が9試合で5校、女子が3試合で1校、併せて6校の下部校が勝ち、予想以上に上部校を破る結果となりました。迎える秋も各校のさらにレベルアップした戦いぶりに期待しております。

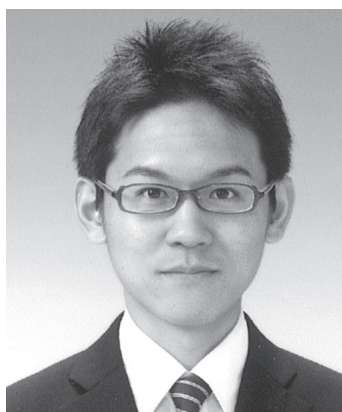
来年4月にはいよいよ世界選手権横浜大会が開催されます。ご承知の通り関東学連では“プロジェクト for 横浜”という大学間を越えた強化活動を実施しております。これらの活動をはじめとして、今後学生卓球界より世界へ羽ばたく、卓球日本再建の中心となる強い意志と高い目標を持った選手が、この伝統ある関東学生リーグ戦で奮起し活躍してくれることを大いに期待しております。

また、2009年には第25回ユニバーシアード大会を控えており、関東学連よりたくさんの代表選手が選ばれ活躍してくれることも楽しみにしております。

今大会開催にあたりご尽力頂きました関係会社各位、協力審判員の皆様、学生幹事諸君、各ブロック幹事校、OB連盟、理事の方々ならびに国立競技場代々木第二体育館、東村山市民スポーツセンター、またリーグ戦会場をお貸しいただきました各大学の皆様に対しまして心より感謝申し上げますとともに、今後ともより一層のご指導ご協力のほどお願い申し上げます。

秋季リーグ戦開催にあたって

関東学生卓球連盟幹事長 大澤 雄一



今年も秋季リーグ戦が代々木第二体育館を初めとする17会場にて開催される事は誠に喜ばしい限りです。

1部8校制となって初の春季リーグ戦は早稲田大学が20年ぶりにアベック優勝を成し遂げました。また、自動入替を含み男女8校が昇部を果たし、より昇降部の激しさが増した大会となりました。

春季リーグ戦から4ヶ月が経ち、各選手は自分のため、母校のために必死に練習を積んできたと思われれます。それぞれ、春のリーグ戦後に培った成果を十分に発揮し、悔いのないプレーをして頂きたいと思います。

今季リーグ戦は4年生にとっては最後のリーグ戦になり、様々な思いを胸に試合に臨むことでしょう。最後のシーズンを悔いの残らないように過ごしてください。そしてリーグ戦が決して消えることのない思い出になれば幸いです。また、今後チームの中心となる下級生の選手も4年生に負けない気持ちで試合に臨んでいただければと思います。

出場する選手全員がベストの状態プレーし、迫力ある試合が展開されるよう期待しております。

最後になりましたが、本大会の開催にあたり、ご尽力くださいました諸先輩方、協力審判員、各ブロック幹事校、国立競技場代々木第二体育館、ならびに関係各位に心から感謝し、挨拶とさせていただきます。